

## 1. ねらい

- (1) 米国 C3 フレームワークに準拠した「探究デザインモデル Inquiry Design Model (IDM)」の思想と概念を活用し、我が国の授業改善ストラテジーを定式化する。
- (2) 「平和概念 WS」プロジェクトおよび「授業理論発信」プロジェクトの成果の論文化を通して、開発・実践系論文のまとめ方、執筆の仕方を習得できる。

## 2. スケジュール

### 第1講 (4月13日)

- ・オリエンテーション、発表分担の調整、決定
- ・コースパケットの作成

### 展開1: 昨年度のまとめと接続

#### 第2講 (4月20日)

- 「10分で分かる社会科授業理論」のシナリオチェック5本→5月10日までに映像化  
→ 随時、草原のコメント撮影時間のアポを取り付けること。

#### 第3講 (4月27日) ... 全員

- C3フレームワークに関する先行研究(紀要論文1, 書籍1, 商業雑誌3) 検討
- 当該論文の配布→事前購読→当日は論文をめぐって問答・討論

#### 第4講 (5月11日) ※1

- 「10分で分かる社会科授業理論」のシナリオチェック5本→5月31日までに映像化  
→ 随時、草原のコメント撮影時間のアポを取り付けること。  
→ 本映像はweb公開するとともに、「社会系(地理歴史)教科指導法」で使用する
- 「単元「平和」とは何か」の論文化構想(章立て) ... Doctor 院生  
→ 9月末締め切りの『研究科紀要』に投稿する
- 「10分で分かる社会科授業理論」の論文化構想(章立て) ... Doctor 院生  
→ 12月末締め切りの『学校教育実践学研究』に投稿する

### 展開2: IDMとは何か、なぜIDMか

- ・1週間前までに翻訳し配布→事前購読
- ・発表者は30分以内のパワーポイントでプレゼン→問答・討論
- ・全社学の大会で成果を口頭発表できるように

#### 第5講 (5月18日)

Kathy Swan, John Lee and S.G. Grant, *Inquiry Design Model: Building Inquiries in Social Studies*, National Council for the Social Studies, and C3 teachers College Career and Civic Life

Conclusion ... (A )

3<sup>rd</sup> Grade children's right inquiry... (B )

5<sup>th</sup> Grade Puerto Rico Inquiry ... (B )

7<sup>th</sup> Grade Great compromise Inquiry... (C )

10<sup>th</sup> Grade Modernization Inquiry ... (C )

10<sup>th</sup> Grade Apartheid Inquiry ... (D )

12<sup>th</sup> Grade Gender Wage gap inquiry ... (D )

第6講 (5月25日) ... (A )

Chapter 1: Finding the **right** contents angle for an injury

第7講 (6月1日) ... (B )

Chapter 2: Crafting a compelling question that is actually **compelling**

第8講 (6月8日) ... (C )

Chapter 3: Stress testing the compelling question through the **summative argument task**

第9講 (6月15日) ... (D )

Chapter 4: **Sequencing the content** thorough supporting questions

第10講 (6月22日) ... (A )

Chapter 5: Using **disciplinary sources** to build argument

第11講 (6月29日) ... (B )

Chapter 6: Building the knowledge through the **formative performance** task

第12講 (7月6日) ... (C )

Chapter 7: Creating **curiosity** by staging the compelling question

第13講 (7月13日) ※2 ... (D )

Chapter 8: Making connections with **extension task**

第14講 (7月20日) ... (AB )

Chapter 9: Taking to the bridge with **informed action**

第15講 (8月3日) ... (CD )

Chapter 10: Finishing an inquiry by looking **vertically**

学会発表の構想をめぐる検討

※1: 5月2日(水)は金曜日授業の日ですが、休講とします。

※2: 7月13日(金)は月曜日授業の日ですが、実施します。

※三原市立南小学校の授業研究会のお知らせ

5月30日(4年), 6月11日(6年), 6月18日(3年), 6月25日(5年)午後です。

### 3. 発表が終わったら

- 質疑と指導の内容を踏まえて、修正したレジユメのデータを草原に送付する。
- 送付は発表後 2 週間を目安とする。特段の事情がない限り 1 か月以上遅れないこと。
- 資料は、草原の修正・点検を経たのち、研究成果としてウェブ上に公開する。

#### 4. 評価の観点

- 発表内容の完成度（論理性，実証性，斬新性など） ... 60%
- 議論へのコミットメント（質問，助言，論点整理など） ... 20%
- プレゼンテーションの技術（レジュメの表現力，説得力など） ... 20%

なお，授業での議論を更に豊かなものにするためには，「予習」は不可欠である。

#### 5. 連絡先

- 研究室： A404 草原研究室，TEL&FAX：082-424-6800
- 電子メール： kusahara@hiroshima-u.ac.jp
- ホームページ： <http://home.hirosima-u.ac.jp/kusahara/kusalab/>

#### 大学院の授業とは何か…

1 つの「プロジェクト」に従事し，完遂することで，

##### ① Teacher として:

自分が，社会科をより高次に教えることができるようになるための  
「授業の分析・開発・省察の能力」（プロフェッション）

##### ② Teacher Educator として:

他者が，社会科をより高次に教えることができるようになるための  
「教師教育の能力」（メンターシップ，リーダーシップ）

##### ③ Teacher Researcher として:

自他の社会科のカリキュラム・授業を研究できるようになるための  
「理論」と「方法論」（メソドロジー，文献解釈力）  
文献・データを検討し，論文を発表するための「発想・作法」と「スキル」  
（アカデミック・リサーチ，ライティング&プレゼンテーション）

◎ すなわち，教社大学院の使命は，①教師，②教師教育者，③実践的研究者，を三位一体的に育成するところにあります。

- ・「教育方法学特講」は，主に③に焦点化して，
- ・「実践的展開と検証」は，主に①に焦点化して，
- ・学部授業「TA」及び「教職授業プラクティカム」は，主に②に焦点化して指導します。